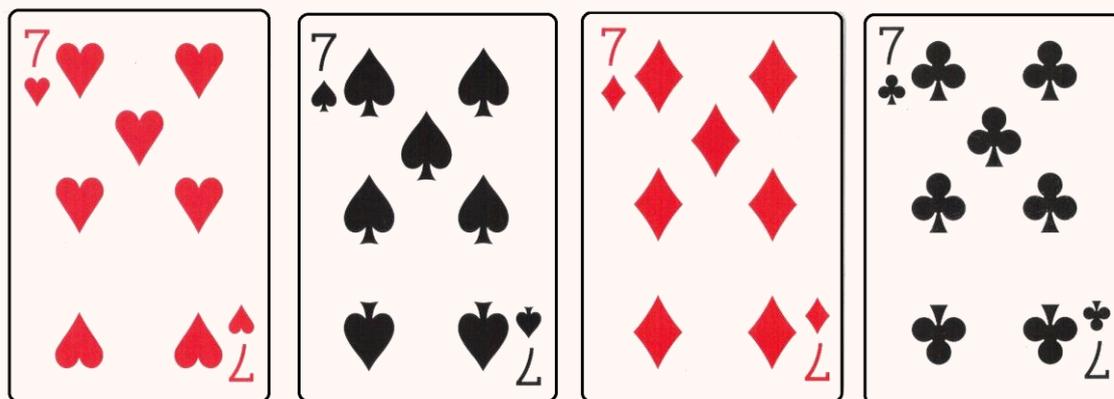


簡単なマジック

誰でも簡単にできるマジックを紹介します。マジックは、「手品」とも言います。パーティーなどで手品をして、まわりの人をびっくりさせましょう。

この手品では、トランプの「7」のカードを4枚使います。まず始めに、この4枚のカードをテーブルの上に並べて、「ここに、ハートの7、スペードの7、ダイヤの7、クラブの7があります。」と言います。この時の並べ方が大切です。

「7」のカードをよく見てください。例えば「ハートの7」のカードは、^{ハート}♥が左側に3つ、右側に3つ並んでいます。そして、カードの真ん中より少し上に^{ハート}♥が1つあります。他のカードも同じように、真ん中より少し上にマークが1つあります。このマークの位置をそろえて、下の絵のようにカードを並べます。



そして、この4枚のカードを裏返してシャッフルします。裏返したまま、「好きなカードを1枚とってください。私にはそのカードを見せないでください。そのカードのマークを覚えてください。」と言います。相手は、カードをとって、マークを覚えます。



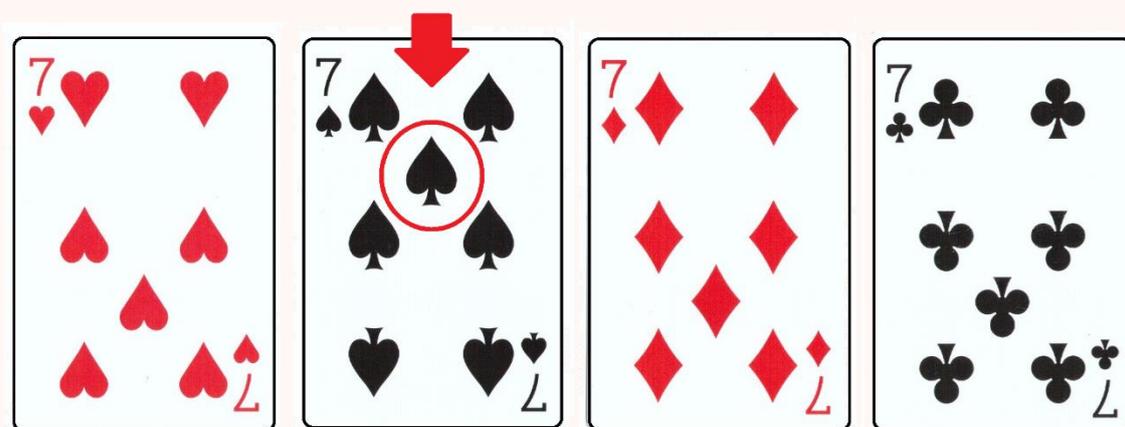
Sasaki Akino

ここがポイントです。相手がカードを見ている間に、3枚のカードの向きを変えます。



そして「カードを裏返したまま、戻してください。」と言って、カードを戻してもらってから、4枚のカードをよくシャッフルします。それから、4枚のカードをテーブルの上に並べます。例えば、相手がスペードの7を選んだ場合につい

で考えてみましょう。下の絵のスペードの7を見てください。カードの真ん中より少し上に ^{スペード}♠ のマークが1つあります。他の3枚はどうでしょうか。3枚のカードは、向きを変えたので、真ん中より少し下にマークがあります。



「あなたが選んだのは、このカードですね。」と言いながら、スペードの7を指さします。きっと相手は「どうしてわかったの？」と、不思議に思うでしょう。相手は「タネを教えてください」と言うかもしれません。「手品のタネ」というのは、手品で相手をびっくりさせるための秘密の方法のことです。この手品のタネは「カードの向きを変えたこと」です。「タネを教えてください」と言われたら、にっこり笑って「タネも仕掛けもありません。」と言ってみましょう。プロのマジシャン（手品師）も、よく言う言葉です。

(919 字)

(2021.7 Written by Junko SATO)

(All pictures are drawn by Akino SASAKI)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.